重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	誰もがスポーツを楽しめる		年度	平成28年度
			責任部長	教育文化部長
			主担当課長	スポーツ課長
施策名	スポーツ活動を振興する	No.40	関係課	教育指定管理課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
スポーツを楽しんでいる人の割合（%）	↗	29.4	32.2	30.8	31.2	32.4	34.7	35.0
		34.7	34.5	33.4	36.1	33.8		40.3
市内の公共スポーツ施設の利用者数（万人）	↗	210.1	211.9	236.6	241.8	242.4	251.3	219.5
		251.3	251.2	246.1	246.3	254.2		271.0

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

平成27年10月に2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えた選手強化をはじめ、国民の健康増進を目的にスポーツ庁が設置され、子どもの体力向上、国民のスポーツライフ、競技力の向上などスポーツの振興に取り組み、さまざまなスポーツに対する関心が高まってきている。また、全ての人々がスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支える活動に参画できるよう、安全で魅力的なスポーツ施設を整備・運営・管理などスポーツ施設の充実が求められています。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	A 改善傾向	スポーツを楽しむ人の割合は目標値には届かないものの、計画策定当初よりは増加傾向である。また、公共スポーツ施設については、土日曜日、祝日を中心に各種のスポーツ大会、個人利用などで有効に活用されており、目標値に向かって順調に推移している。以上のことから、全体としては改善傾向と判断する。

評価がB・Cの場

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	
次年度の改善計画	

＊＊＊